

OAB-J番号のFMC利用については、ユーザニーズが高いこと及びIP-NWでの実現性を考慮し、今後も議論が必要と考えますので、少なくともOAB-J番号の利用可能性を閉ざしてしまうことは避けるべきと考えます。

● OAB-J番号使用に関する継続検討の必要性

➤ 現状、OAB-J番号は「地理的識別」や「社会的信頼性の識別」等の役割を担っている事から、OAB-J番号のFMC利用については、利用者保護の観点から様々な意見提示が番号研究会にて行われております。

➡ 弊社としては、「ガイダンス挿入」や「発信者番号表示の制限」を行う事により、OAB-J番号のFMC利用を可とする意見を提案させていただきました。(第6回WG資料 WG6-12を参照願います)

➤ 一方で、OAB-J番号(固定電話)のモビリティを求めるユーザニーズは高く、FMC用番号として使用することはユーザ利便の向上につながると考えています。

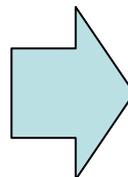
➡ 参考資料を参照

● OAB-J番号によるFMCの実現性について

➤ FMCサービスを実現するための開発経費や今後の固定電話のIP化進展を考慮すると、IP-NWによるFMC実現を前提としていきたいと考えています。

既存PSTN

- ・既存PSTNは維持管理段階に入っており、新たな機能拡張は多大な開発費が必要となります
- ・設備投資はIP-NWへシフトしており、多大な開発を伴う既存PSTNでのFMC提供は現実的でないと考えます



IP-NW

- ・IP-NWではプレゼンス機能等を利用した、多様なサービス提供が容易に実現可能と考えます
- ・弊社としては、2010年光3,000万加入を目標としており、今後IP-NWへのユーザ移行が進展する事で、多くのユーザへのFMCサービス提供が可能になると考えております

(参考) 固定電話に対するFMC利用ニーズについて

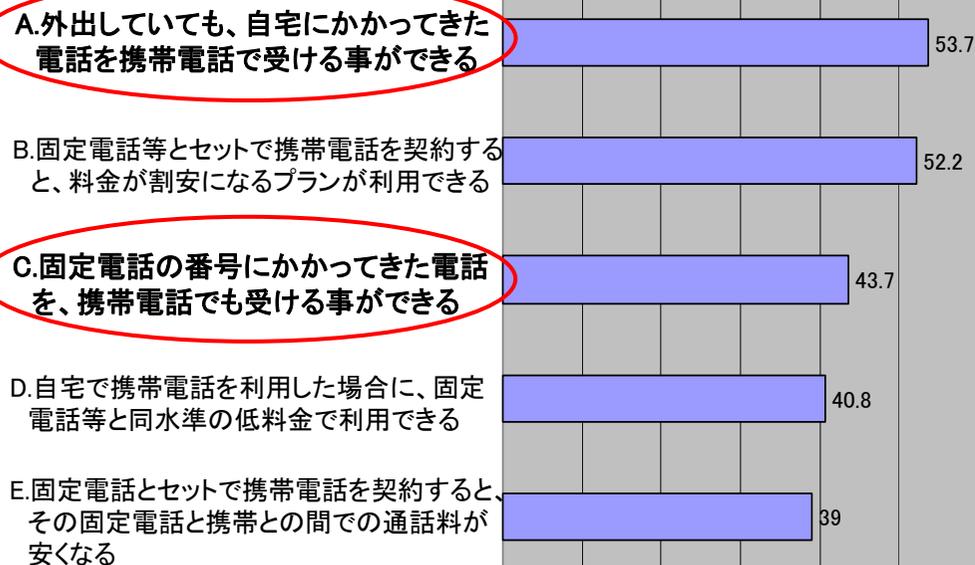
◆FMC番号への消費者要望は、固定電話へのモビリティ追加に対するニーズが高いと考えます

消費者要望

第19回携帯電話コンテンツ/サービス利用者調査結果より
 (楽天リサーチ(株)/三菱総合研究所:2005.11.30~2005.12.2)
<http://research.rakuten.co.jp/release/060116/>

FMCサービスとして関心のある内容

(N=2,520) 0 10 20 30 40 50 (%)



利用シーン

